



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



今年も創意工夫がたくさん!! ~夏休み作品展~

お便りでもお伝えしておりましたが、本日まで、子どもたちの夏休み作品展を行いました。図工室に展示された作品は、どれも創意工夫あふれる力作ばかり。今年も校長の独断で賞をつけました。それを紹介します。



たのしいで賞
「ポンポンたまいれ」
1年 日沼莉心さん
 紙コップやペットボトルのキャップ、わりばしなどを使って作られています。100点のカップに入れるのがおもしろそう。でも、とても楽しそう!!



きもちいいで賞
「カラフルストロー」
2年 岩城福愛さん
 らせん状にした針金を、色とりどりのストローがくるくるとすべり落ちます。見ていてとても気持ちがいいです!!



すずしげで賞
「お花のイルカ」
3年 岡本夏摘さん
 色づけした小さい花を集めて、イルカの形に表現しています。夏らしい涼しげな作品です!!



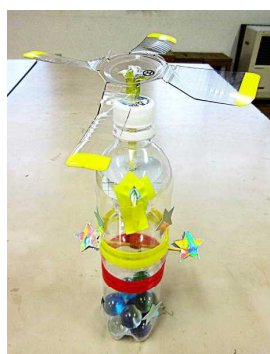
かわいいで賞
「クロミちゃんのちょきんぼこ」
1年 武田恵来さん
 紙ねんどで作り、色をぬっています。大きくてずっしりしていますが、とてもかわいいので、たくさん貯金をしたくなりますね!!



センスあるで賞
「手作りスクラッチアート花火」
5年 山本愛実さん
 クレヨンで色付けした上に、さらに黒絵の具をぬり、それをけずっています。夜空に咲く花火、本物に負けてません!!



うつくしいで賞
「ぼくの家から見える風景」
6年 日沼友成さん
 ちぎり絵です。濃さの違う紙を重ねることで、空のグラデーションがとても美しく表現されています!!



よく考えたで賞
「糸引きプロペラ」
4年 工藤修太さん
 菜ばしやペットボトルを利用して、糸を引くと、下から上を持ち上げようとする力が働き、プロペラが回り、発射されます。楽しく科学を学べそう!!



SDGsで賞
「小物入れ」
5年 須藤 聖さん
 ちらしを交互に織り込んで、カラフルな柄の小物入れの完成です。不要な物から実用的な物を生み出す発想、素晴らしいです!!



「ここが八森！」で賞
「日本と雄島の花火」
6年 高橋美緒さん
 ビーズや色紙などを使用し、雄島の花火と日本列島を表現して、八森の魅力を全国に発信する作品となっています。さすが6年生!!

全員の作品を紹介できず申し訳ありません。どの作品も子どもたちの思いのこもったすばらしい作品ばかりで、感心しました。お家の方々も製作にあたり、アドバイスをくださったことに感謝します。今後ともよろしくお願いいたします。

授業の様子から



【1年】国語

ひらがなが書かれた表の中から、たて、よこ、ななめにかくれた言葉を探しています。たくさんの言葉を見付けることができました。



【2年】国語

ととのった字を書くためのきまりについての学習です。漢字を全員で空書きしながら、漢字のつくりを確認しています。



【3年】社会

よく買い物に行く店について話し合いをしています。黒板に書かれた店を種類ごとに分け、どんな目的で誰と一緒に行くのかを確認しました。



【4年】算数

2けた÷2けたの計算の仕方を学習しています。新しく習うところだけに、いつも以上に真剣に取り組んでいます。



【5年】理科

ヘチマやアサガオの花のつくりについて、タブレットを活用して、実際の花を観察しながら理解を深めています。



【6年】総合的な学習の時間

9月下旬の修学旅行について、調べ学習を行っています。地図を片手に、パソコンで情報収集です。今から楽しそうです。



今年も子どもたちの夏休み作品を見させていただきました。自分の小学校のころも自由研究がありました。今の子どもたちの方が様々な物を工夫して活用し、独創的で見ていてとても楽しいです。自分の夏休みの作品として思い出すのは、ひまわりの生育を観察して日記にまとめたことや釣った魚を魚拓にしたこと、昆虫採集をして標本をつくったことなどです。

特に昆虫採集は、家の近くの製材所のおがくずの山の中を探したり、早朝に自転車や自転車で街灯を巡ったりして採集した昆虫を、菓子折の空き箱を標本箱代わりにして展翅した記憶があります。作品としては粗末な物でしたが、あのときの自分にとっては、宝物だったに違いないありません。

このような虫への興味は年を経ても薄れることはなく、様々な種類のアリの生態や、チョウやガの不思議な目玉模様を、チョウやガの羽根に見られる不思議な目玉模様を、「眼状紋」といいますが、これはネコなどの目を模していて、これがあることで天敵の鳥から身を守っていると考えられています。この眼状紋は、幼虫の頭部にも見られます。

言葉による交流の乏しい動物にとって、目は重要な意味をもっているようです。このような生態は、畑で見られる鳥よけの目玉風船や飛行機のバードストライク防止のためのエンジンデザインなど、私たち人間の生活にも生かされています。

「目は心の鏡」といわれます。言葉での交流とは別に、私たち人間も目から相手の気持ちや考えなどを読み取ることがあります。

二期がスタートして一週間。子どもたちが温かい目で他者と交流しながら活動に取り組み、新しい発見と目を見張るよう、目を輝かせながら学校生活を過ごすことができるよう、日々見届けていきたいと思っています。

つばき

目は心の鏡

